

平成 30 年度

# 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター



## 概 要

平成 30 年度は、夏の記録的な高温、豪雨、数多くの台風発生など異常気象が続き、記録づくめの一年であった。また、第 32 回オリンピック競技大会・東京 2020 パラリンピック競技大会を 2 年後に控え、機運醸成が進む一方で、様々な問題が浮き彫りになった一年でもあった。

まず、本センターの運営に関しては、年間一般有料入場者 15 万 5 千人の達成を目標に掲げ、各シーズンに集客イベントを企画・実施し、誘客促進に努めたほか、全日本自転車競技選手権大会や全国高等学校総合体育大会（インターハイ）自転車競技、全日本大学対抗選手権（インカレ）自転車競技大会等を招致したものの、異常気象や“オリンピック・パラリンピックの会場整備のため、CSC は一般営業を行っていない”といった風評被害の影響は如何ともし難く、目標入場者には遠く及ばない結果となった。

次に、オリンピック・パラリンピックの受入れについては、会場使用協定並びに損失補償に関する組織委員会との交渉が難航し、会場整備への着手や工事期間における本センターの営業案内に大幅な遅れが生じたが、平成 31 年 2 月に会場使用及び整備工事並びに損失補償に関する基本合意に達し、今後は大会受入れの準備が急ピッチで進むものと思われる。

本年度に実施した主要な施策は次のとおりである。

- 2020 年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向けた関係機関との連携（会場整備、機運醸成ほか）
- 上記オリンピック・パラリンピック受入れに係る関係機関との協議及び交渉並びに内部的課題の検討（会場使用協定、営業補償、営業休止期間中の運営計画ほか）
- 年間一般有料入場者 15 万 5 千人の実現に向けた誘客策の強化  
（夏季シーズンにおける営業時間の延長・夜間営業及び集客イベントの強化ほか）
- 合宿所サイテルの補修整備

なお、事業の実施に際し、自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業、施設の補修事業、自転車競技に関する機材等の開発・改良・調査・研究等に関する事業については、公益財団法人 JKA から公益事業振興資金並びに機械振興事業資金の補助を受けた。

### 1. サイクルスポーツ施設の運営等に関する事業

#### (1) 各種施設の提供

5 キロサーキット、MTB コース及び伊豆ベロドローム等の自転車競技施設、屋内スポーツ施設の室内フットサル場及び体育館、野外活動施設の DAY キャンプ場並びに自転車競技大会の参加者や合宿者の宿泊場所でもある宿泊施設サイテル等の諸施設を広く一般に提供し、サイクルスポーツを中心とする生涯スポーツの普及に努めた。

その中で、伊豆ベロドロームについては、引き続き競技愛好者への一般開放を行ったほか、平日にはほぼ毎日ナショナルチームの強化トレーニングの場として提供し、施設の有効活用を図った。

また、経年劣化が見られる宿泊施設サイテルについては、3階浴室の防水補修、屋外非常階段の補修、2階厨房・食堂の空調設備補修並びに1・2階客室の補修、3階和室大部屋の補修、1・2階共用トイレの補修等、必要最小限の整備を施し、施設・設備の機能回復とイメージアップに努めた。

## (2) その他の事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向けて、管理棟3階の「オリ・パラ競技用自転車紹介コーナー」と伊豆ベロドロームの「オリ・パラ自転車競技種目紹介コーナー」において、競技用自転車やオリンピック関連情報を提供することで機運醸成に努めるとともに、自転車のスポーツ活用の促進を図った。

このほか、自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出し、各種自転車の展示等の事業を行った。

## (3) 入場者

本年度における東海地方の気候は、春から夏にかけて気温の高い状態が続き、平年に比べて春が+1.8℃、夏が+1.6℃と、統計開始以来歴代1位を記録した。また、7月から9月にかけて5個の台風が東海地方に接近し、台風の接近数も降水量も平年を上回った。特に、9月30日深夜から10月1日未明にかけて通過した台風24号は、本センターも含め各地に多くの被害をもたらした。

一方、本センターの入場者（一般有料入場者）について考察すると、第1四半期は、GW期間中の日並び（連休日数の減少）と梅雨入りが平年より早かったことも影響し、合計で38,179人（前年度42,898人）、対前年で△4,719人、89.0%となった。

続く第2四半期は、7月上旬の記録的な大雨、中旬から下旬の厳しい暑さが影響し、5千人を超える大幅な減、8月期は2年ぶりにインカレ並びにインターハイが開催され、参加者数2,711人を獲得したものの、上旬から中旬の猛暑日と下旬の台風接近などの影響で来場者数が伸びず、合計で39,784人（前年度47,524人）、対前年で△7,740人、83.7%に止まった。

第3四半期は、10月期の営業日数の半数以上が雨に見舞われた前年度に比べ、今年度は雨天日数が4日間（前年度14日間）と少なく、11月から12月にかけて比較的温暖だったことも影響し、合計で23,685人（前年度21,684人）、対前年で+2,001人、109.2%となった。

第4四半期も引き続き温暖な気候で、降雪による影響はなかったものの、春季イベントの開催見送りや、風評被害・春休み期間中の土日が雨天であったことも影響し、合計で26,488人（前年度31,260人）、対前年で△4,772人、84.7%に止まった。

以上の結果、平成30年度の一般有料入場者は128,136人（前年度143,366人）、前年度と対比すると、△15,230人、89.4%となった。

一方、場内施設利用者は、大半の施設が入場者の減少に比例又はその料率を上回る減少となり、その中にあっても、アスレチック迷路は台風24号の被害により、10月1日から3月19日まで休業を余儀なくされ、2万6千人を超える大幅な減少となった。結果、延べ利用者数は前年より114,578人減の673,109人、対前年比85.5%であった。

なお、本事業年度の詳細は(別表1-1)月別入場者、(別表1-2)入場者内訳及び(別表1-3)施設利用者内訳のとおりである。

## 2. 自転車競技並びにサイクルスポーツの普及奨励

### (1) アジアサイクリングセンター(CCC修善寺)の運営

#### ア. 国内トレーニングキャンプ

国際自転車競技連合(UCI)におけるワールドサイクリングセンター(WCC)構想のもと、日本を含むアジア各国の自転車競技連盟から推薦を受けた将来有望なトラック競技者や指導者をCCC修善寺に集め、伊豆ベロドローム等の施設を活用して基礎的な訓練研修を行うとともに、同年代の各国若手アスリートと競わせることによりメンタル面の向上を図るなど、今後世界で活躍するための貴重な機会を創設した。

本年度における開催は、次のとおりである。

#### [第1回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成30年6月19日～平成30年7月2日

参加者：4カ国 23名(選手18名、コーチ5名)

中国(上海)	13名(選手9名、コーチ4名)
香港チャイナ	3名(選手3名)
日本	4名(選手4名、うちパラ選手3名)
タイ王国	3名(選手2名、コーチ1名)

#### [第2回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成30年10月30日～平成30年11月12日

参加者：3カ国 14名(選手12名、コーチ2名)

香港チャイナ	2名(選手2名)
日本	9名(選手8名、うちパラ選手6名、 コーチ1名)
タイ王国	3名(選手2名、コーチ1名)

#### イ. 海外トレーニングキャンプ

アジア自転車競技連合(ACC)の協力のもと、資金面で来日が困難なアジア各国への便宜を図るため、CCC修善寺のコーチングスタッフを地理的にも治安的にも環境に優れたタイ王国へ派遣し、自転車競技者及び指導者を対象にしたトレーニングキャンプを実施し、競技普及のアプローチを行った。

本年度における開催は、次のとおりである。

開催期間：平成30年9月25日～平成30年10月3日

開催場所：タイ王国・バンコク フアマーク自転車競技場

参加者：3カ国 14名(選手11名、コーチ3名)

香港チャイナ	1名(選手1名)
パキスタン	1名(選手1名)
タイ王国	12名(選手9名、コーチ3名)

#### ウ. PR・招致活動

海外トレーニングキャンプ後に同国で開催された「ACCトラックアジアカップ2018タイラウンド」において、CCC修善寺のPRを行い、国内キャンプへの招致に努めた。

「ACCトラックアジアカップ2018タイラウンド」

開催期間：平成30年10月5日～平成30年10月7日

開催場所：タイ王国・スパンブリ県 スパンブリ自転車競技場

派遣スタッフ：3名

#### エ. ガールズキャンプへの協力

公益財団法人JKA及び公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する「ガールズサマーキャンプ2018」、公益財団法人JKAが主催する「ガールズサテライトキャンプ2019」に指導協力を行った。

協力内容は、次のとおりである。

[ガールズサマーキャンプ2018]

(第1ターム)

開催期間：平成30年8月8日～平成30年8月10日

開催場所：日本競輪学校400メートルピスト

参加者：10名（トラック競技未経験者）

指導スタッフ：4名

(第2ターム)

開催期間：平成30年8月11日～平成30年8月14日

開催場所：本センター400メートルピスト

参加者：14名（トラック競技初心者及び経験者）

指導スタッフ：4名

(第3ターム)

開催期間：平成30年8月15日～平成30年8月18日

開催場所：本センター400メートルピスト

参加者：17名（トラック競技初心者及び経験者）

指導スタッフ：4名

[ガールズサテライトキャンプ2019]

開催期間：平成31年2月15日～平成31年2月17日

開催場所：広島競輪場

参加者：17名（トラック競技経験未経験者及び初心者等）

指導スタッフ：2名

#### (2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

##### ア. 自転車競技大会

5キロサーキット及び伊豆ベロドロームを活用し、5時間耐久チームサイクルロードレース大会やトラック自転車競技大会等の各種自転車競技大会を企画・開催した。

また、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催にも協力した。

[主催大会]

開催件数：12件（前年度12件）

参加者：1,447名（前年度1,441名）

[他団体の大会]

開催件数：45件（前年度38件）

参加者：8,389名（前年度7,279名）

なお、詳細は（別表2）自転車競技大会一覧のとおりである。

イ. 自転車競技合宿

ナショナルチームを始め、大学や高等学校の自転車競技部、各種自転車競技団体等、延べ239件2,509名（前年度315件2,521名）の自転車競技者を誘致し、トレーニングの場として伊豆ペロドロームなどの自転車競技施設を提供した。

なお、本年度はナショナルチームのトレーニング受入れを最優先させたため、合宿の受入れ件数が減少したものの、インカレ開催による大学単位での事前合宿を受け入れたことから、人数的には12名の減員と、ほぼ横ばいであった。

(3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センターの施設・設備とスタッフを活用して、伊豆サイクルスポーツクラブの運営を行った。

同クラブは、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象に、トラック競技を原則月4回実施した。なお、月4回のうちの1回を水曜日の夜間に実施し、会員のニーズに応えた利用環境を整えることができた。

また、当クラブ出身で、現在ナショナルチームの鈴木奈央選手においては、2018全日本選手権トラック・レースにおいてスクラッチ種目で2連覇を達成し、2018-2019トラックワールドカップにおいても上位入賞を果たすなど活躍している。

なお、当該事業については、公益財団法人JKAから一部助成金を受けて実施した。

[会員数]

平成29年度末：82名（トラック・ロード）

平成30年度末：57名（トラック）

(4) 自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室を4回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を4回開催した。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

(5) 自転車競技者に対する指導業務

地元静岡県自転車競技連盟からの要請を受け、ジュニア世代の育成、国体に出場する静岡県代表選手及び女性アスリートの強化に特化したトレーニングプログラムによる

指導を行った。

なお、詳細は（別表 3）自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

## (6) 各種イベントの開催

### ア. 自転車普及イベント

平成 31 年 3 月には、2 年ぶりとなるランニングバイクイベント「2019 伊豆ペドローム チャッキーカップ」を 2020 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技大会の会場となる伊豆ペドロームにおいて企画したほか、一輪車の魅力を発信するための様々なイベントを開催し、サイクルスポーツの普及に努めた。

一輪車に関連する開催イベントは以下のとおりである。

- ・第 15 回 CSC3 時間耐久一輪車レース大会
- ・第 29 回新春静岡県一輪車競技大会（5k m マラソン）
- ・第 7 回静岡オープン駅伝大会

なお、詳細は（別表 4）イベント開催内容一覧のとおりである。

### イ. スポーツイベント

環境に恵まれた本センターの各種訓練施設等を会場にして、スポーツイベントを開催し、スポーツへの参加機会を提供するとともに、サイクルスポーツの知名度向上に努めた。

- ・第 21 回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング
- ・体育の日「健康イベント」（200m タイムアタック、カロチャレ）
- ・フットサル 1DAY ナイトリーグ（全 3 戦）
- ・第 14 回伊豆サンタマラソン

なお、詳細は（別表 4）イベント開催内容一覧のとおりである。

## (7) 自転車競技の地域普及啓発活動

本センターに在籍する自転車競技の公認コーチを中心にトラック競技体験プログラムを地元住民へ提供することにより、自転車競技と触れ合う機会を設け、伊豆地域における自転車競技の普及啓発に努めた。

また、トップアスリートの育成を目的に三島市が主催する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」において自転車競技の指導業務を受託し、コーチング並びに同競技への適性調査などの協力を行った。

このほか、静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として伊豆ペドローム及び 400 メートルピストを提供し、トラック競技の技術指導に関する協力も行った。

なお、詳細は（別表 5）自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

## (8) ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の活用

NTC 自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、オリンピック及びパラリンピック競技のナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の優先・専有利用及びトレーニング施設の競技条件の向上、科



学的なトレーニングを行うための医科学サポート並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための施設活用事業を行った。

その結果、オリンピック競技のナショナルチームにおいては、昨年引き続きワールドカップ並びに世界選手権で複数のメダルを獲得し、パラリンピック競技のナショナルチームにおいても同様に、ワールドカップ並びに世界選手権で複数のメダルを獲得するなど、トレーニングの成果が顕在化している。

### 3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

#### (1) 各種自転車に関する調査研究

サイクリングコースにレンタサイクルとして配備した各種市販自転車の利用後の評価に関してアンケート調査を行うとともに、日常の自転車利用の機会や目的等についてもデータを収集した。また、おもしろ自転車については、利用環境の改善として一部車種の改良を実施した。

#### (2) 自転車競技者の競技力向上に資する装置・機器の開発に関する調査研究

調査研究委員会を立ち上げるとともに、専門機関に委託して、トラック競技者の競技力向上に資するために、タイムトライアル時の実走状況を映像に収め、ペース配分やスパート時期を即座にモニターでトップアスリートと比較できるようにするとともに、プロジェクトマッピングの技術により、世界記録や日本記録、そして、大会時にはそれまでの最高記録の軌跡を走路上に投影・表示することが可能となるようなシステムの開発に関する検討を行った。

また、実走時に近い環境で乗車でき、効率的なフォームやポジショニングをフィードバックできるようなトラックバイクフィッティング装置の開発についても、併せて研究した。

### 4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

#### (1) 各種施設の提供

“安全性の確保”と“満足度の向上”を念頭に置き、ファミリーサーキット、おもしろ自転車及びサイクルモノレール等の自転車関連施設並びにサイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等を一般へ提供した。

その他、引き続き愛犬家向けの対策として、ニーズの高いドッグラン等の利用環境の整備に努め、サービスの向上を図った。

#### (2) その他の事業

GW・夏季・秋季・正月の各シーズンに、人気の高いお笑いライブやキャラクターショーなどの集客イベントを開催した。特に8月には、話題の恐竜イベント「ディノ・ア・ライブ」を初開催したほか、旧盆期間を中心に夜間営業「サイクルナイト」を実施して誘客に努めた。また、5キロサーキットコース等の自転車関連施設を活用して、各自動車メーカーによる撮影及びPRイベントを受入れるなど、収益の増大を目的とした施設の貸与事業を積極的に行った。

[撮 影]

件 数：15 件（前年度 22 件）

収 入： 5,768 千円（前年度 8,919 千円）

[イベント]

件 数：15 件（前年度 20 件）

収 入：25,976 千円（前年度 22,768 千円）

## 5. 飲食等付随するサービス事業

飲食部門については顧客満足度の向上を心掛け、季節に合わせたディスプレイやメニューの追加並びに混雑緩和のため迅速な商品提供に努めるなど、サービスの向上と効率化の改善を図った。また、繁忙期には地元漁協の協力を得てサザエのつぼ焼き等の店頭販売を行ったほか、大会・イベント開催時には積極的に臨時売店を出店し、売上増進に努めた。

一方で、引き続き光熱水費・消耗品費の節約や食材等仕入れの見直しを行い、効率的な経営を目指した。

物販部門では東京オリンピック・パラリンピックの公式記念グッズや自転車トラック競技会場に指名された伊豆ベロドロームを素材とした「ベロドローム T シャツ」と「ベロドロームマフラータオル」等のオリジナルグッズを販売し、売上増進を図った。

## 6. 広報及び誘致活動

パソコンや携帯電話の普及が著しい現況に鑑み、様々な情報を簡単に不特定多数の者へ到達させることが可能で、最も高い費用対効果が期待できる“インターネット”をフルに活用することとし、本センターのホームページについては、アクセスする方々に、より分かりやすく情報伝達が可能となるよう、閲覧者からの情報収集により随時見直しを行った。また、他のホームページとのリンクを積極的に行うとともに、営業メニュー・自転車競技大会・イベント・各種スクール・季節毎の見所・各施設の営業状況等の情報をタイムリーに発信した。

一方、有料のインターネット広告については、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」と「LINE@」を効果的に活用した。その中で「LINE@」においては、お友達登録数約 15,000 名（前年度約 8,000 名）となり、前年度と比べて約 7,000 名増加し、「いこーよ」内の検索数においては、2018 静岡県の家族でおでかけ年間人気ランキングで 3 位を獲得するなど、本センターの注目は更に高まっている。

パブリシティに関しては、各メディアに対し積極的に情報をリリースし、オリンピック・自転車競技関連では、確認されただけでもテレビ 7 局 23 回（前年度 3 局 6 回）、新聞 3 紙 29 回（前年度 3 紙 6 回）取り上げられた。また、本センターの施設やイベントについても、様々な媒体で紹介いただいた。

このほか、首都圏に対しては、引き続き経験豊富な専属の担当者を配し、旅行代理店並びに公官庁・大手企業・学校等への販売促進活動を展開したものの、当該活動による獲得来場者は 7,221 名（前年度 8,048 名）、前年度と比べて 827 名の減員であった。一方、地元に対しては、伊豆半島一円の宿泊施設や幼稚園及び保育園へ定期的に案内資料を提供し、誘客促進を図った。

また、サイテル宿泊者については、客室ほか補修工事のため平成 30 年 12 月から平成 31 年 2 月まで休業した影響により、スポーツ合宿において 4,253 名（前年度 6,235 名）となり、前年度と比べて 1,982 名の減員となった。

なお、詳細は（別表 6）広報宣伝活動内容一覧、（別表 7）販売促進活動内容一覧のとおりである。

#### 7. 2020 年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向けた関係機関との連携（会場整備、機運醸成ほか）

2020 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技大会の開催を次年度に控え、関係自治体による周辺道路のインフラ整備は着々と進められている一方、本センター内で予定されている競技会場等の整備については組織委員会との交渉が難航し、工事着手が大幅に遅れたものの、平成 31 年 2 月末には会場使用及び整備工事に関する基本合意に達したことから、レストスタンドの解体撤去工事、MTB コースの造成工事も始まり、今後急ピッチで会場整備が進むものと考えられる。

また、静岡県は平成 30 年 7 月 22 日、本センターの伊豆ベロドロームでのキックオフイベントを皮切りに、「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた自転車競技開催 2 年前イベント」を企画し、伊豆半島・東部地域 20 市町で様々なイベントを実施した。また、期間中には地元プロチームやサイクリング愛好家等で構成するキャラバン隊によるイベント会場の巡行や、本センターで開催されたインターハイにおいて地元高校生との協働により、観戦来場者等に対して東京 2020 大会自転車競技の本県開催を PR するなど、オリンピックムードを切らすことなく機運醸成に取り組んでいる。

#### 8. 上記オリンピック・パラリンピック受入れに係る関係機関との協議及び交渉並びに内部的課題の検討（会場使用協定、営業補償、営業休止期間中の運営計画ほか）

本年度は組織委員会と、会場整備、会場使用協定（基本事項）、損失補償（営業補償）、飲食サービス等について協議及び交渉を行った。

これらの中で、会場整備工事と本センター一般営業との調整や、損失補償の金額交渉が難航し、会場使用協定及び損失補償に関する契約の締結には至らなかったものの、大筋について合意が得られたことから、平成 31 年 2 月末に基本合意確認書を取り交わし、年度内に会場整備工事へ着手することができた。

また、静岡県とは観客の輸送計画並びにレガシー施設の活用について検討を行い、円滑な大会運営や、大会後における自転車競技の振興・本センター来場者の増員を図るべく、具体的な取りまとめ作業を行っているところである。

なお、本センターの営業については、2019 年の GW 期間終了までは現行体制で営業を続け、以降については工事に支障を及ぼさないエリア及び施設に限定して、可能な限り営業を継続することとしたほか、大会後の再オープンに向けて、施設リニューアル、料金改正、事前 PR、オープニングイベント等について検討を進めることを確認した。

#### 9. その他

##### (1) 各種合理化策の実施

各種契約に伴う業者選定については、入札・見積比較等を実施し合理化に努めたほか、可能な限り職員による各所のメンテナンスを実施して経費の削減を図った。

## (2) 地域行政との連携

### ア. 伊豆市事業への協力

“伊豆をサイクルスポーツ・サイクルレジャーのメッカに！”を合言葉に、伊豆市と自転車関係団体とが「自転車と伊豆」推進協議会を組織し、平成30年5月に「2018 ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ」、「サイクルフェスティバル伊豆 2018」等を開催した。

また、伊豆市が主催する、こども園の園児を対象にした「ストライダー出前教室」等、地元市民の機運醸成のための自転車普及イベントへの協力も行った。

### イ. 静岡県事業への協力

地域資源の活用とスポーツをキーワードにした新たな事業の創出による地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」（通称：E-spo）を組織しているが、本センターは同協議会の設立発起人の一員として参画し、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等に関する検討に加わった。

また、7月22日から8月7日の間「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた自転車競技開催2年前イベント」が伊豆半島・静岡県東部地域20市町の各所にて開催され、自転車競技会場となる伊豆ベロドロームにおいては、開催初日にキックオフイベントの開催に協力した。

## (3) 各種資格取得の奨励・支援

本センターの事業運営に必要とされる各種資格については、担当部署を問わず、その取得を積極的に奨励し、本年度においては、公認障がい者スポーツコーチ1名、自転車技士・安全整備士1名、甲種防火管理者1名が資格を取得した。

なお、その詳細は（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

## (4) その他

理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、規程の見直し、各種職員研修などの業務を必要に応じて行った。

職員の全体研修については、伊豆市職員を講師に招き「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～ボランティアで大切なことは？～」と題した講演を開催した。

この他、職員組合と退職金支給規程の改正に関する協議を行った。

なお、その詳細は（別表8）諸会議開催内容一覧、（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

## (別表1-1) 平成30年度 月別入場者

[単位:人]

区 分	平成29年度					平成30年度					増 減	
	総入場者	割 合	一般有料 入 場 者	割 合	営業日数	総入場者	割 合	一般有料 入 場 者	割 合	営業日数	一般有料 入 場 者	前年比
4 月	13,527	8.2%	12,731	8.9%	26日	16,747	11.1%	15,657	12.2%	27日	2,926	123.0%
5 月	27,780	16.8%	23,866	16.6%	28日	21,379	14.2%	17,942	14.0%	27日	△ 5,924	75.2%
6 月	7,550	4.5%	6,301	4.4%	21日	6,160	4.1%	4,580	3.6%	22日	△ 1,721	72.7%
7 月	16,868	10.2%	12,986	9.1%	29日	11,533	7.7%	7,457	5.8%	28日	△ 5,529	57.4%
8 月	31,509	19.0%	28,607	20.0%	31日	30,025	20.0%	25,792	20.2%	31日	△ 2,815	90.2%
9 月	7,474	4.5%	5,931	4.1%	26日	7,872	5.2%	6,535	5.1%	26日	604	110.2%
10 月	7,539	4.5%	6,185	4.3%	27日	10,455	7.0%	9,008	7.0%	27日	2,823	145.6%
11 月	9,083	5.5%	8,262	5.8%	26日	8,538	5.7%	7,459	5.8%	25日	△ 803	90.3%
12 月	8,419	5.1%	7,237	5.0%	20日	8,127	5.4%	7,218	5.6%	24日	△ 19	99.7%
1 月	9,702	5.8%	8,514	5.9%	22日	9,415	6.3%	8,666	6.8%	27日	152	101.8%
2 月	6,242	3.8%	5,002	3.5%	19日	5,286	3.5%	4,460	3.5%	20日	△ 542	89.2%
3 月	20,040	12.1%	17,744	12.4%	28日	14,732	9.8%	13,362	10.4%	29日	△ 4,382	75.3%
合 計	165,733	100.0%	143,366	100.0%	303日	150,269	100.0%	128,136	100.0%	313日	△ 15,230	89.4%

(別表1-2) 平成30年度 入場者内訳

[単位:人]

区 分			平成29年度		平成30年度		増 減		
			人 数	割 合	人 数	割 合	人 数	前年比	
有	入場券	個 人	おとな	17,764	12.4%	14,893	11.6%	△ 2,871	83.8%
			こども	4,467	3.1%	3,626	2.8%	△ 841	81.2%
		団 体	おとな	30,041	21.0%	26,220	20.5%	△ 3,821	87.3%
			こども	7,727	5.4%	6,196	4.9%	△ 1,531	80.2%
		計	59,999	41.9%	50,935	39.8%	△ 9,064	84.9%	
	とくとくパス	個 人	おとな	6,230	4.3%	4,744	3.7%	△ 1,486	76.1%
			こども	5,325	3.7%	4,195	3.3%	△ 1,130	78.8%
		団 体	おとな	27,666	19.3%	24,442	19.1%	△ 3,224	88.3%
			こども	23,586	16.5%	21,101	16.4%	△ 2,485	89.5%
		計	62,807	43.8%	54,482	42.5%	△ 8,325	86.7%	
入場者	セッター券	こども会	おとな	6	0.0%	6	0.0%	0	100.0%
			こども	2	0.0%	20	0.0%	18	1000.0%
	スクール	おとな	1,199	0.8%	1,190	0.9%	△ 9	99.2%	
		こども	279	0.2%	262	0.2%	△ 17	93.9%	
	特別	おとな	3,130	2.2%	3,171	2.5%	41	101.3%	
		こども	1,916	1.3%	1,796	1.4%	△ 120	93.7%	
	身 障 者	114	0.1%	69	0.1%	△ 45	60.5%		
	計	6,646	4.6%	6,514	5.1%	△ 132	98.0%		
	大会・合宿等	9,794	6.8%	12,597	9.8%	2,803	128.6%		
	パターゴルフコース利用者	4,120	2.9%	3,608	2.8%	△ 512	87.6%		
一般有料入場者計	143,366	100.0%	128,136	100.0%	△ 15,230	89.4%			
その他有料入場者	14,822	9.4%	14,024	9.9%	△ 798	94.6%			
有料入場者合計	158,188	100.0%	142,160	100.0%	△ 16,028	89.9%			
無 料 入 場 者	7,545	4.6%	8,109	5.4%	564	107.5%			
入 場 者 総 合 計	165,733	100.0%	150,269	100.0%	△ 15,464	90.7%			
営 業 日 数 (日)	303		313		10	103.3%			
営業日における雨天日数(日)	61	20.1%	69	22.0%	8	113.1%			

(別表1-3) 平成30年度 施設利用者内訳

区 分	平成29年度		平成30年度		増 減	
	人 数	利用率	人 数	利用率	人 数	前年比
5キロサーキット	15,336	9.2%	11,042	7.4%	△ 4,294	72.0%
ファミリーサーキット	67,363	40.6%	59,944	39.9%	△ 7,419	89.0%
MTBコース	7,049	4.2%	6,051	4.0%	△ 998	85.8%
BMXコース	539	0.3%	—	—	△ 539	—
STRIDER Park	184	0.1%	126	0.1%	△ 58	68.5%
伊豆ベロドローム	94	0.1%	19	0.0%	△ 75	20.2%
サイクルコースター	101,486	61.2%	89,723	59.7%	△ 11,763	88.4%
おもしろ自転車	109,011	65.8%	94,707	63.0%	△ 14,304	86.9%
サイクルゴーランド	62,172	37.5%	56,670	37.7%	△ 5,502	91.2%
サイクルUFO	54,994	33.2%	49,178	32.7%	△ 5,816	89.4%
サイクルモノレール	58,287	35.2%	49,284	32.8%	△ 9,003	84.6%
水上自転車	54,638	33.0%	46,720	31.1%	△ 7,918	85.5%
流水プール	11,085	6.7%	9,734	6.5%	△ 1,351	87.8%
体育館(卓球ルーム)	3,300	2.0%	3,046	2.0%	△ 254	92.3%
スカイローラー	98,382	59.4%	86,389	57.5%	△ 11,993	87.8%
アスレチック迷路 キャッスルアドベンチャー	64,079	38.7%	37,781	25.1%	△ 26,298	59.0%
室内フットサル場	6,859	4.1%	7,182	4.8%	323	104.7%
ウエイトトレーニング場	180	0.1%	52	0.0%	△ 128	28.9%
パターゴルフコース	5,403	3.3%	4,724	3.2%	△ 679	87.4%
コイン施設	252	0.1%	81	0.1%	△ 171	32.1%
バッテリーカー	3,582	2.2%	3,734	2.5%	152	104.2%
DAYキャンプ場 元気の森	2,611	1.6%	2,461	1.6%	△ 150	94.3%
ウォーターバルーン	1,802	1.1%	2,870	1.9%	1,068	159.3%
ふわふわドーム	21,099	12.7%	19,279	12.8%	△ 1,820	91.4%
ジャングルジム FUJISAN	37,900	22.9%	32,312	21.5%	△ 5,588	85.3%
合 計	787,687	475.3%	673,109	447.9%	△ 114,578	85.5%

- ・BMXコースは、平成29年7月31日をもって一般営業終了
- ・コイン施設は、平成30年6月30日をもって廃止
- ・体育館・流水プールの有料営業期間は、平成29年度は7月15日から8月31日まで  
(平成30年度は7月14日から8月31日まで)
- ・アスレチック迷路キャッスルアドベンチャーは、台風被害のため平成30年10月1日から平成31年3月19日まで  
営業休止

(別表2) 自転車競技大会一覧

開催月	主な大会	主催団体	参加選手	
主 催	4月	CSCクリテリウムシリーズ 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	77人
	5月	Challenge The Izu Velodrome 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	67人
	6月	CSCクリテリウムシリーズ 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	92人
	7月	第21回 CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会	日本サイクルスポーツセンター	381人
	7月	CSCトラック自転車競技大会2018夏(KID'S～マスターズ)	日本サイクルスポーツセンター	158人
	8月	CSCクリテリウムシリーズ 第3戦	日本サイクルスポーツセンター	131人
	9月	Challenge The Izu Velodrome 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	76人
	9月	CSCクリテリウムシリーズ 第4戦	日本サイクルスポーツセンター	91人
	11月	CSCトラック自転車競技大会2018秋	日本サイクルスポーツセンター	116人
	11月	CSCクリテリウムシリーズ 第5戦	日本サイクルスポーツセンター	93人
	12月	CSCクリテリウムシリーズ 第6戦	日本サイクルスポーツセンター	81人
	1月	CSCクリテリウムシリーズ 第7戦	日本サイクルスポーツセンター	84人
協 力	4月	2018JCRCロードシリーズ第1戦	日本サイクルレーシングクラブ協会	153人
	4月	全日本学生トラックレースシリーズ第1戦	日本学生自転車競技連盟	176人
	4月	第43回チャレンジサイクルロードレース大会	日本自転車競技連盟	768人
	5月	全日本学生トラックレースシリーズ第2戦	日本学生自転車競技連盟	150人
	5月	全日本学生ロードレースシリーズ第2戦 第20回修善寺オープンロードレース大会	日本学生自転車競技連盟	207人
	5月	第21回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ	自転車月間推進協議会	96人
	6月	第34回全日本学生選手権個人ロードレース大会	日本学生自転車競技連盟	151人
	7月	JAPAN TRACK CUP I・II	日本自転車競技連盟	368人
	8月	平成30年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会トラックレース	全国高等学校体育連盟ほか	1,500人
	8月	平成30年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会ロードレース	全国高等学校体育連盟ほか	196人
	8月	2018年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	日本自転車競技連盟	511人
	8月	文部科学大臣杯 第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	日本学生自転車競技連盟	504人
	9月	2018JCRCロードシリーズ第4戦	日本サイクルレーシングクラブ協会	108人
	9月	第87回全日本自転車競技選手権大会トラックレース 2018 日本パラサイクリング選手権・トラック大会	日本自転車競技連盟	354人
	10月	2018全日本選手権自転車競技大会ーオムニウム 2018全日本選手権自転車競技大会ーマスターズ	日本自転車競技連盟	226人
	11月	第50回中部8県対抗自転車競技選手権大会	日本自転車競技連盟ほか	142人
	11月	第52回中部8県対抗自転車競技大会道路競走大会	日本自転車競技連盟ほか	60人
	12月	全日本学生トラックレースシリーズ第4戦	日本学生自転車競技連盟	127人
	12月	第9回東京エンデューロ	東京都自転車競技連盟	98人
	12月	2018ワンデイ・トラックレース ウィンターシリーズ第1戦	静岡県自転車競技連盟	113人
	1月	2018ワンデイ・トラックレース ウィンターシリーズ第2戦	静岡県自転車競技連盟	99人
	1月	全日本学生トラックレースシリーズ第5戦	日本学生自転車競技連盟	89人
	2月	2018ワンデイ・トラックレース ウィンターシリーズ第3戦	静岡県自転車競技連盟	136人
2月	2019東京都ウィンターロードレース大会第2戦	東京都自転車競技連盟	162人	
3月	第2回JBCF修善寺ロードレース	全日本実業団自転車競技連盟	813人	
3月	2019JCRCロードシリーズ第1戦	日本サイクルレーシングクラブ協会	185人	

<主催大会>

12大会:1,447人参加(5キロサーキット、伊豆ペドローム)  
 ※ CSCクリテリウムシリーズの最終戦(3月)は、雨天のため中止。  
 ※前年度実績12大会:1,441人

<協力大会>

45大会:8,389人参加(5キロサーキット、333メートルピスト、伊豆ペドローム)  
 ※前年度実績38大会:7,279人



(別表3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧

区 名	内 容	参加人数
小学生のための 自転車教室	自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 4回開催(第106回:6月～第109回:3月)	58人
女性のための 自転車教室	自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 4回開催(第313回:6月～第316回:3月)	38人
自転車競技者に対する 指導業務	静岡県自転車競技連盟強化事業への協力 ・ジュニア育成・強化事業における指導 1回開催(12月) 選手16名 ・国体強化事業における指導 3回開催(12月・1月・2月) 選手32名 ・女子アスリートキャンプにおける指導 1回開催(11月) 選手14名、指導者3名 ・公認指導員(自転車競技)養成講習会における指導 1回開催(1月) 受講者7名	72人

(別表4) イベント開催内容一覧

	イベント名	開催日	主な内容	
自転車普及イベント	ゴールデンウィーク サイクルカーニバル	平成30年4月29日(日) ～ 同 5月6日(日)	あいぜっちゅースペシャルライブ キャラクターショー(2種類) スタンプラリー	2日 137人 2日 3,545人 9日 652人
	一輪車競技大会 ～共催～	平成30年6月24日(日)	第15回CSC3時間耐久一輪車レース大会 (チーム対抗)	1日 256人
		平成31年1月3日(木)	第29回新春静岡県一輪車競技大会 (5kmマラソン)	1日 112人
		平成31年2月3日(日)	第7回静岡オープン駅伝大会 (チーム対抗)	1日 172人
	ランニングバイク大会	平成31年3月24日(日)	2019伊豆ペロドローム チャッキーカップ	1日 42人
	夏のサイクルカーニバル	平成30年7月14日(土) ～ 同 8月31日(金)	CSC自主イベント(3種類) お笑いライブ(6組) ディノ・ア・ライブ	49日 13,351人 3日 3,086人 2日 2,740人
		夏の夜間営業 「サイクルナイト」 来園者数(3日間 1,339人)	平成30年8月13日(月) ～ 同 8月15日(水)	施設利用(5施設営業) 子ども縁日(5屋台) バランススクーター
			卓球ルーム	3日 18人
	ハロウィンイベント		平成30年10月1日(月) ～ 同11月4日(日)	園内に隠されたハロウィンキャラクター探
	秋のサイクルカーニバル	平成30年10月6日(土) ～ 同10月8日(月)	キャラクターショー(3種類)	3日 3,692人
	クリスマスイベント	平成30年11月23日(金) ～ 同12月25日(火)	園内に隠されたクリスマスアイテム探索	33日 800人
	新春サイクルカーニバル	平成31年1月1日(火) ～ 同 1月3日(木)	新春開運餅まき大会、運ためし抽選会 健康増進イベント(200mタイムアタック、カロチャレ) 「あいぜっちゅー」ミニライブ & SPライブ	3日 1,200人 2日 712人 2日 72人
恐竜イベント		平成31年3月16日(土) ～ 同3月31日(日)	園内に隠された恐竜キャラクター探索	16日 1,600人
スポーツイベント	ウォーキング	平成30年4月15日(日) ※荒天により中止	第21回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング (5km、10kmコース)	1日 92人 (申込者数)
	体育の日イベント	平成30年10月8日(月)	体育の日「健康イベント」 健康増進イベント(200mタイムアタック、カロチャレ)	1日 381人
	フットサル大会	平成30年6月2日(土) ～ 同12月1日(土)	1Dayナイトリーグ (会員及び一般参加によるリーグ戦)	3日 12チーム
	マラソン大会	平成30年12月23日(日)	第14回伊豆サンタマラソン	1日 169人

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

開催日	主な内容
平成30年4月1日(日)	<p>みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力(全8回) 1日 28人</p> <p>第3期生 28人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技講話「自転車競技の魅力について」 (1回)</li> <li>・伊豆ベロドロームでのトラック競技体験プログラム(7回)</li> </ul> <p>※平成30年3月21日(水)から全8回実施</p>
平成30年7月26日(木)	<p>伊豆市立熊坂小学校 PTA家庭学級 1日 13人</p> <p>(伊豆ベロドロームでのトラック競技魅力啓発プログラム)</p>
平成30年10月10日(水) ～平成30年11月21日(水)	<p>静岡県立伊豆総合高等学校体育科目選択授業 10日 170人</p> <p>第1グループ(3年生) 14人(実習回数 5回)</p> <p>第2グループ(2年生) 20人(実習回数 5回)</p> <p>(第1グループは北400mピスト、第2グループは伊豆ベロドロームでのトラック競技実習)</p>
平成31年1月26日(土)	<p>大仁北小学校親児の会 1日 21人</p> <p>(伊豆ベロドロームでのトラック競技魅力啓発プログラム)</p>
平成31年3月2日(土) ～平成31年3月31日(日)	<p>みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力(全8回) 7日 140人</p> <p>第4期生 20人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技講話「自転車競技の魅力について」 (1回)</li> <li>・伊豆ベロドロームでのトラック競技体験プログラム(6回)</li> </ul> <p>※最終回(競技体験プログラム)は、平成31年4月1日(月)に開催予定</p>

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

媒体名		内 容		
広 告	テレビ	静岡朝日テレビ 15秒スポット	51本	
	新聞	静岡新聞、毎日新聞、伊豆日日新聞	3紙 6回	
	雑誌	読売ファミリーサークル、Pocket、全福ネットガイドブックほか	8誌 11回	
	車内吊	新東海バス 4枚/車両・1期7日	35車両 52期	
	看板	伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板)	1基 12ヵ月	
		伊東マリンタウン(観光案内看板)	1基 12ヵ月	
		伊豆ぐらんぱる公園旅の駅(観光案内看板)	1基 12ヵ月	
	インターネット	伊豆市ホームページ	12ヵ月	
		いこーよ(子供とおでかけ情報サイト)	12ヵ月	
		ロケナビ!(ロケ地検索サイト)	6ヵ月	
LINE@(イベント情報配信サイト)		12ヵ月		
その他	ハッピークーポンほか	2件 6回		
	大会協賛広告(サイクルフェスティバル伊豆2018 ほか)	3回		
パ ブ リ シ テ イ	オリ ン ピ ック ・ 自 転 車 競 技 関 連	テレビ	静岡県内全局、NHK総合、テレビ朝日	7局 23回
		新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞、茨城新聞	3紙 29回
	施 設 紹 介 ・ イ ベ ン ト	テレビ	テレビ朝日、NHK静岡、静岡第一テレビ、SBSテレビ、静岡朝日テレビ	5局 5回
		ラジオ	JFN(ジャパンエフエムネットワーク)、SBSラジオほか	4局 4回
		新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞、東京新聞、読売新聞	4紙 29回
		雑誌	ファミリーじゃらん、情報誌NEOSTAほか	9誌 10回
		インターネット	Dokka! おでかけ探検隊、音声観光ガイドサービス「ツーリストガイド」ほか	9件 9回

## (別表7) 販売促進活動内容一覧

(単位:人)

区 分	営業予約実績		来 場 実 績			
	件 数	人 数	法人等契約先	サイテル宿泊		
				スポーツ合宿	営業外	計
4 月	4	840	1,559	16	738	754
5 月	5	1,210	528	476	601	1,077
6 月	8	906	135	155	754	909
7 月	7	1,111	756	1,283	754	2,037
8 月	3	600	917	1,591	883	2,474
9 月	2	310	244	290	494	784
10 月	3	340	1,680	0	633	633
11 月	3	530	210	36	921	957
12 月	4	525	238	—	—	0
1 月	6	692	241	—	—	0
2 月	4	743	84	—	—	0
3 月	5	629	629	406	632	1,038
合 計	54	8,436	7,221	4,253	6,410	10,663
前年度	63	8,417	8,048	6,235	7,978	14,213
増 減	△9	19	△827	△1,982	△1,568	△3,550

(別表8) 諸会議開催内容一覧

会議名	開催内容
理事会	<p><b>第22回理事会（平成30年6月4日開催、東京）</b>            (議案第1号) 平成29年度事業報告について            (議案第2号) 平成29年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について            (議案第3号) 平成29年度公益目的支出計画実施報告について            (議案第4号) 第16回評議員会の招集について            (報告事項1) 平成30年度有料入場者の推移について            (職務執行報告)            東京オリンピック・パラリンピック競技会場整備に関わる関係機関との折衝状況について            今期のGWの入場者の状況について</p>
	<p><b>第23回理事会（平成30年6月29日開催、東京）</b>            (議案第1号) 会長及び常務理事の選定について            (議案第2号) 役員報酬の支給額について            (職務執行報告)            東京オリンピック・パラリンピック競技会場整備に関わる関係機関との折衝状況について            今後の業務の執行体制について            今期の有料入場者の推移について</p>
	<p><b>第24回理事会（平成31年2月18日開催、書面決議）</b>            (議案第1号) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技(トラック及びMTB)の受入れについて</p>
	<p><b>第25回理事会（平成31年3月18日開催、東京）</b>            (議案第1号) 平成31年度事業計画について            (議案第2号) 平成31年度収支予算について            (議案第3号) 第18回評議員会の招集について            (報告事項1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに関わる準備の進捗状況について            (職務執行報告)            東京オリンピック・パラリンピック競技会場整備に関わる関係機関との折衝状況について            今期の入場者の動向と年度末の見通しについて</p>
評議員会	<p><b>第16回評議員会（平成30年6月29日開催、東京）</b>            (議案第1号) 評議員の補充選任について            (議案第2号) 平成29年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について            (議案第3号) 次期役員を選任について            (報告事項1) 平成29年度事業報告について            (報告事項2) 平成29年度公益目的支出計画実施報告について            (報告事項3) 平成30年度有料入場者の推移について</p>
	<p><b>第17回評議員会（平成31年2月22日開催、書面報告）</b>            (報告事項) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技(トラック及びMTB)の受入れについて</p>

会議名	開 催 内 容
評 議 員 会	<b>第18回評議員会（平成31年3月29日開催、東京）</b> （報告事項1）平成31年度事業計画について （報告事項2）平成31年度収支予算について （報告事項3）2020年東京オリンピック・パラリンピックに関わる準備の進捗状況について
常 勤 役 員 会	<b>第1回常勤役員会（平成30年5月21日）</b> （議案第1号）平成29年度事業報告について （議案第2号）平成29年度決算報告について
	<b>第2回常勤役員会（平成30年9月10日）</b> （議案第1号）平成31年度JKA補助要望事業について
	<b>第3回常勤役員会（平成30年11月19日）</b> （議案第1号）平成30年度下期の誘客策について
	<b>第4回常勤役員会（平成31年2月19日）</b> （議案第1号）平成31年度営業計画について （議案第2号）平成31年度勤務計画について
	<b>第5回常勤役員会（平成31年3月8日）</b> （議案第1号）平成31年度営業計画について （議案第2号）平成31年度勤務計画について （議案第3号）平成31年度事業計画について （議案第4号）平成31年度収支予算について
そ の 他	役職員懇談会 （ 7回開催：平成30年4月～平成31年1月）
	管理職会議 （ 10回開催：平成30年4月～平成31年3月）
	営業施設の安全対策委員会 （ 12回開催：平成30年4月～平成31年3月）
	防火管理委員会 （ 4回開催：平成30年6月、8月、12月、平成31年1月）
	労務運営委員会 （ 4回開催：平成30年11月、平成31年3月）
	公益財団法人JKA伊豆事業所との定例連絡会 （ 12回開催：平成30年4月～平成31年3月）

(別表9) 職員研修内容一覧

研 修 名		回 数	参 加 者
研 資 質 向 上	全体研修(1月) 講話「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて ～ボランティアで大切なことは?～ 講師:伊豆市産業部東京オリンピック・パラリンピック推進課 副主任渡邊麻友氏	1回	役職員・保守管理業者(35名)
資 格 取 得	公認障がい者スポーツコーチ養成講習会(6・12月)	2回	競技振興係担当者(1名)
	自転車技士・安全整備士(8月)	1回	普及事業課担当者(2名)※1名取得
	甲種防火管理者(11月)	1回	販売事業部次長(1名)
一 般 研 修 会 ・ 講 習 会	遊戯施設の運行管理者・運転者等講習会(4月)	1回	普及事業課担当者(2名)
	日本トレーニング指導者協会～体幹トレーニングの科学と実践(5月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	平成30年度競技別NTC合同ミーティング(5・11月)	2回	競技振興課長(1名)
	高地トレーニングNTC活用推進セミナー～蔵王坊平～(6月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	日本トレーニング指導者協会研修会(6月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	健康運動指導士更新必須講座(7月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	安全運転管理者法定講習会(8月)	1回	総務部長(1名)
	平成30年度競技別NTCマネジメントミーティング(9月)	1回	競技振興部長(1名)
	日本サッカー協会フットサル3・4級審判員資格更新講習(2月)	1回	競技振興係担当者(1名)
講 師 派 遣	みしまジュニアスポーツアカデミー(4・3月)	8回	競技振興課長、競技振興係担当者(計3名)
	静岡県立伊豆総合高等学校「体育科目選択授業」(10・11月)	10回	競技振興課長、競技振興係担当者(計3名)
	ジュニアトレーニングキャンプ2018(11月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	静岡県自転車競技連盟「ジュニア育成合宿」(12月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	静岡県自転車競技連盟「国体強化合宿」(12・1・2月)	3回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	平成30年度公認指導員(自転車競技)養成講習会(1月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	伊豆市平成30年度「市民健康講座」(2月)	1回	競技振興係担当者(1名)
各 種 訓 練	地震総合訓練(6月、12月)	2回	職員・保守管理業者(6月34名、12月37名)
	消防総合訓練(9月、1月)	2回	職員・保守管理業者(9月33名、1月35名)
	利用者救助訓練 サイクルコースター(6月)	1回	普及事業課(5名)
	サイクルUFO・サイクルモノレール(12月)	1回	普及事業課(7名)